

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年11月20日

【2017年11月11日～2017年11月17日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドルで上昇する一方、対円では下落しました。また、2年国債金利は低下しました。

注目されている年金改革法案の審議につきましては、週半ばに祝日（共和制宣言記念日）があったことから、めぼしい進展はありませんでした。連立政党の一角であるPSDB（ブラジル社会民主党）の内部対立が激しさを増した結果、週初に同党出身の都市大臣が辞任しました。PSDBの分裂および政権離脱の可能性が高まったことから、テメル大統領が今後数週間のうちに内閣改造を行うことが明らかになりました。大統領は閣僚のポジションを再配分することで、年金改革法案に対する支持票の拡大を目指す方針です。

内閣改造により同法案が議会で承認される可能性が幾分高まったという見方が広がったことから、ブラジル金融市場では為替、債券ともに堅調に推移しました。ただし、対米ドルで円高が進んだことから、ブラジル・レアルは対円では下落する結果となりました。

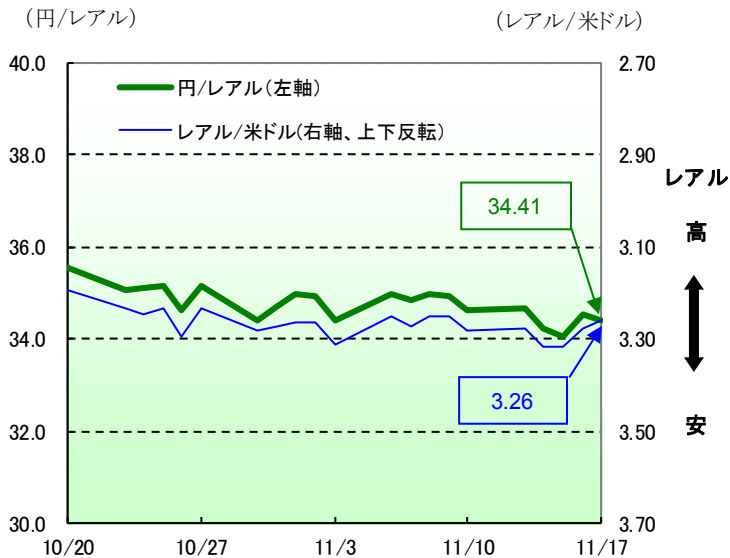
【2】今週の見通し

今週も年金改革法案の審議と内閣改造の進捗に注目が集まります。12月18日から議会は休会期間に入り、再開されるのは翌年2月1日からとなります。大統領選が本格化する2018年4月頃までに法案を成立させるためには、少なくとも今年中に下院での承認を終えておきたいところですが、残り時間が相当少なくなっていることは否めない状況です。このため、政府は年金改革の根幹部分（最低退職年齢の引き上げとその移行期間、民間企業労働者と公務員の年金制度の統一）に絞って、法案の成立を目指す方針ですが、移行期間および民間部門と公務員の格差是正には根強い反対がある模様です。引き続き法案審議は難航しそうな状況であり、大統領による速やかな内閣改造の断行に期待が集まります。

経済指標につきましては、経済活動指数やインフレ率（IPCA-15）などの発表が予定されています。

【ブラジル・レアル 為替推移】

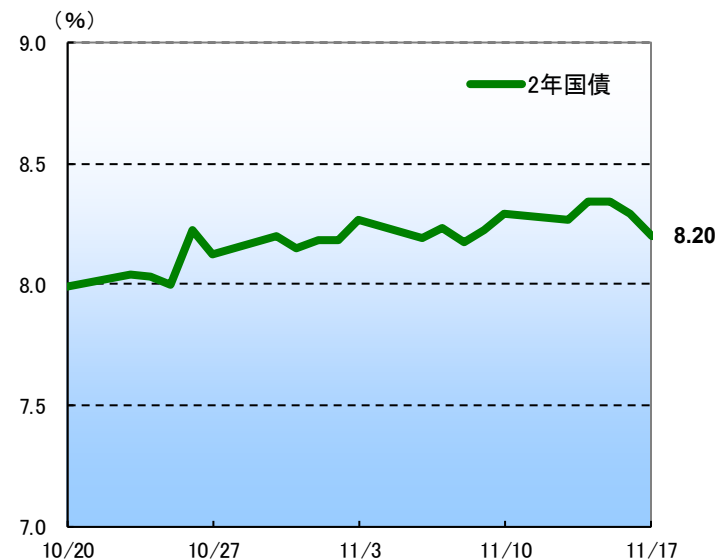
（2017年10月20日～2017年11月17日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

（2017年10月20日～2017年11月17日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>